

KISC

財団法人かごしま産業支援センター

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

CONTENTS

- 02 特集 応援します！中小企業の経営革新！
- 04 県内3事業者に「農商工連携88選」認定証授与
- 05 ベンチャープラザコーナー④9 IT利用による日本及び世界の気象データサービスとそれを利用したコンサルティング
- 06 マーケティングの現場から～チェック・ポイントと処方箋：発売直前のマーケティング。
- 07 税務お役立ち情報：消費税がかかる取引とかわからない取引
- 08 食の安心・安全の確保について（第3回）：生産段階における畜産物の衛生管理対策（鹿児島県畜産課）
- 09 女性起業家の声：仕事と家族
- 10 IT活用戦略：社内ネットワーク
- 12 産学官連携⑤9 養殖稚魚の健全な発育を促進：餌用マイクロカプセル飼料
- 13 受発注情報
- 14 **Information**：かごしま食と健康バイオフォーラム2008の御案内 等
- 16 鹿児島県人材育成センターの利用の御案内
「かごしま企業情報」への掲載の御案内
メール配信サービス「KISCNEWS」の御案内

9月号

September 2008

(財) かごしま産業支援センター
URL <http://www.kric.or.jp/>

応援します！中小企業の経営革新！

～ 経営者のための経営革新支援制度活用術 ～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取り組みを支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。

有限会社 松山



代表取締役 松山 竹一 氏

【事例紹介】

『全国へ発信！奄美大島産“島の味”』

< 企業概要 >

所在地：奄美市名瀬末広町5-3
 設立：昭和63年8月
 資本金：3,000千円
 従業員数：46名（パート含む）
 業種：菓子・パン小売業
 TEL：0997-52-7345
 計画承認：平成18年5月22日

地元農作物の有効活用を

Q. 新事業にチャレンジしたきっかけは

当社は創業以来、主に奄美市内で洋菓子やパンを製造・販売しています。

ここ奄美と言いますと、亜熱帯の太陽の恵みの中で栽培されたサトウキビやパッションフルーツなどの農作物が特徴です。しかし一方で、従来から島内の農家においては、大きさや見た目等の理由から市場へ出荷できない規格外農作物の活用が課題となっています。

そこで、地元農家が抱える課題の解決に少しでも貢献したいと思い、これら規格外農作物を使用した新商品（アイスキャンデーやケーキ、パイ等）を開発しました。

需要調査を行ったところ、島外消費者（観光客を含む）のニーズとマッチしたことから、地元特産物を利用した商品を全国へ発信したいと考え、新事業へのチャレンジが始まりました。



< 地元特産物を利用したお菓子類 >

新事業の概要

奄美の地域特性を活かした菓子等の製造・食が体験できる施設「奄美きょうらうみ工房」の建設

施設	【奄美きょうらうみ工房】 （平成19年12月オープン） 住所：奄美市笠利町用安1254-1 TEL：0997-63-2208 URL：http://www.kyora-umi.com
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菓子売店 ・レストラン （客席26席、テラス席含む） ・黒糖、塩製造体験工房 ・一般車、観光バス用駐車場 ・シャワー室 （海水浴場に面していることから顧客の利便性向上のため設置）



< 奄美きょうらうみ工房 >

経営革新に取り組むきっかけ～

Q. 経営革新支援制度を利用した経緯を聞かせてください

奄美市で開催された経営革新セミナーを受講し、この制度のことを知りました。経営革新計画が県から承認されたことにより政府系金融機関の低利融資を受け、「奄美きょうみ工房」をオープンすることができました。

また、平成19年度には県の経営革新支援事業費補助金を活用し、奄美ならではのデザイン性にこだわった新ブランド、ロゴ、パッケージを開発しています。



<海水浴場に面したテラス>



<レストラン内部>



<工房には団体の観光客も訪れる>

地元食材とイタリアンの融合～さらなる付加価値の向上へ

Q. 「奄美きょうみ工房」について教えてください

体験型の黒糖工房、菓子類の売店などを備えています。一番の特徴はレストランです。南国奄美の「きょうみ」を眺める抜群のロケーションと地元産の魚介類や野菜などをふんだんに使用しているイタリア風創作料理は、ここでしか味わえないものです。

なかでもイタリアから取り寄せた薪釜で焼く「鶏飯ピザ」は当店が開発した自慢の一品であり、マスコミにも取り上げられるほどの人気メニューとなっています。

今後は、その日採れた食材でメニューを変えるなど、ここ奄美ならではのサービスを提供し、お客様に喜んでいただける店づくりを目指していきます。

<体験型の黒糖工房>



<自慢の鶏飯ピザ>

Q. 新事業の取り組み状況はいかがですか

初めてのレストラン業ということで、店舗運営のノウハウが不足していましたので、県に相談し、専門家(アドバイザー)派遣事業を活用することにしました。

専門家の方から直接、店舗のレイアウトやメニュー、価格設定など様々なアドバイスをいただき、特に「鶏飯ピザ」など地元奄美の食材を活かしたメニュー提案は参考になりました。

既存のイタリア料理に奄美という付加価値を加えることで、さらに当店の独自性が高まったと感じています。

■県のアドバイザー派遣事業の御案内■

県では、経営革新計画への取組を支援するため、中小企業診断士等の外部アドバイザーを派遣しています。派遣費用については無料(全額県負担)ですが、経営革新計画の承認を受けていることが条件となります。

【経営革新計画に関するお問合せ先】

県庁経営金融課 経営支援係

TEL : 099-286-2944(直通)

FAX : 099-286-5576

E-mail : shien@pref.kagoshima.lg.jp

URL : <http://www.pref.kagoshima.jp/>

ホーム > 産業・労働 >

商工業 > 経営支援 >

中小企業経営革新支援

「食」を通じて奄美の島おこしを

Q. 今後の事業展開について教えてください

奄美大島から全国へ向けた食(島の味)の発信に取り組んでいますが、地元においても知名度が低く、まだこれからというところです。これまでの取組に加えて、島を担う若い人材を育てていくこと、そして地域の人達が手を携えて新しい取組に挑戦し、地域の魅力度を高めていくことの重要性に気付かされています。

今後も新しいサービスの追求を怠ることなく、「食」を通じた島おこしに貢献していきたいと考えています。

県内3事業者に「農商工連携88選」認定証授与

平成20年7月21日施行された農商工連携促進法は、地域の基幹産業である農林水産業と商業・工業等の産業間で連携「農商工連携」を強化し、相乗効果により地域経済の活性化を図るものです。

平成20年8月20日、鹿児島県内の3事業者に経済産業大臣の「農商工連携88選」認定証が授与されました。認定された3事業者は日本有機株式会社、農事組合法人霧島高原純粋黒豚牧場、株式会社エルムです。

各事業者の認定内容と授与式でのあいさつ要旨は、次のとおりです。

日本有機株式会社 代表取締役 野口 愛子

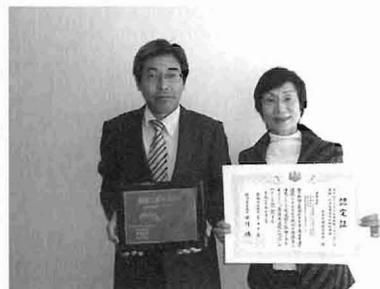
〒899-8604 曾於市末吉町諏訪方4122

取組名称 日本初さつまいも澱粉麵を用いた開発・販路開拓

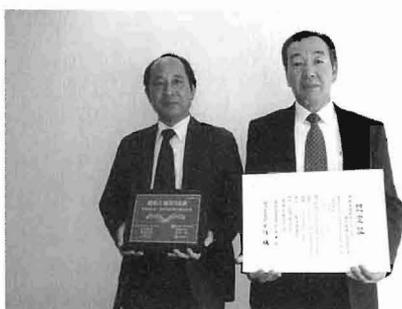
連携団体 さつまいも生産農家、日本澱粉工業(株)、熊本製粉(株)、レクストン鹿児島、(株)山形屋、鹿児島県農産物加工研究指導センター

取組内容 自社開発の鴨スープと鹿児島県農産物加工研究指導センターから技術提供された「さつまいも澱粉麵」を組み合わせた「さつまいも麗麵」(冷麵、温麵、焼麵)を開発中です。冷麵はすでに商品化され「さつまいも冷麵」として販売しています。

あいさつ要旨 農産物を原料として出荷するよりも、連携してもっと付加価値を高めた商品にして出荷したい。大都市への販売を強化して消費拡大を図りたい。
「何もしなければ何も出てこない。主張する商品開発に努めたい」



野口代表取締役(右)と原田経営室長(左)



平代表理事(右)と増田事務局長(左)

農事組合法人霧島高原純粋黒豚牧場 代表理事 平 邦範

〒899-4202 霧島市霧島永水4962

取組名称 黒豚生産を中心とした観光展開と環境改善

連携団体 (有)霧島高原ロイヤルポーク、(株)フロンティア霧島、霧島黒豚会、(株)藤和設計、NPOゼロエミッション推進協議会

取組内容 自社牧場で黒豚を一貫生産し、食肉製造・加工業者への納入からレストランでの提供まで連携して行う。環境に配慮した施設運営やグリーン・ツーリズム、環境学習、食育等幅広い連携を推進する。

あいさつ要旨 今回の認定は農業の商品化にとって追い風になると思う。年1回黒豚を食する会を設けており、食育にも力を入れている。黒豚と観光を結びつける試みは海外メディア(韓国、香港、中国)からも注目され取材も受けた。
「地図を見ればアジアが見える。アジアに焦点を当てていきたい」

株式会社 エルム 代表取締役 宮原 隆和

〒892-0821 南さつま市加世田武田15248

取組名称 自社技術を活かした省力化設備の開発

連携団体 鹿児島県農業開発総合センター、サンケイ化学(株)、文明農機(株)、(財)かごしま産業支援センター、鹿児島県工業技術センター、鹿児島県システムエンジニアリング研究会等

取組内容 電子技術を得意とする研究開発型企业で、これまでも農業、畜産、水産等の分野で省力化機器を開発してきた。独自開発した光ディスク自動修復装置は世界28カ国で販売され、世界でほぼ100%のシェアをほこる企業でもある。連携団体と協力して第1次産業分野のニーズにマッチした省力化装置システム開発を推進する。

あいさつ要旨 バブル崩壊がきっかけとなり地域企業として生き残れる新しい分野を探した結果、農業分野で連携して機器開発することに努めてきた。農業という異業種との交流はアイデアが生まれる場ともなっており、大きなメリットをもたらす。
「農業は一流の客ととらえている。一次産業の向上のためにも頑張っていきたい」



宮原代表取締役

ベンチャープラザコーナー ④9

第36回 ベンチャープラザ鹿児島

気象データシステム 株式会社

代表取締役 上村 芳三

鹿児島市伊敷台1-2-1

TEL: 099-228-8009 FAX: 099-228-8009

E-mail: uemura@metds.co.jp

【ベンチャープラザ鹿児島（二水会）】



(ベンチャープラザで発表する上村社長)

IT利用による日本および世界の気象データサービスとそれを利用したコンサルティング

発表内容

<企業紹介>

弊社は、気象データベースと関連のソフトウェア販売並びにそれらに基礎を置いたコンサルティングを行う会社です。

弊社の気象データは、本来建築物の内部環境をシミュレートするために開発されたものですが、欠けているデータが無くかつ使いやすいアプリケーションを備えていますので、今後、建築環境以外のユーザーを開拓し、社会への貢献と売り上げ向上の両方を達成したいと思っています。

<商品開発のきっかけ>

建築物内部の環境を正しくシミュレートし、適正な環境を作り出すことは、中に住む人の健康と住環境調節のためのエネルギーを無駄使いしないための第一歩です。

弊社が扱う気象データベースやソフトウェア群は「このシミュレーションを効率よく適正に行えるように」という動機付けで開発されました。

<商品の目的・特徴>

基幹製品の一つである日本の気象データベースについて御説明します。

一番の特徴は、欠けたデータが無いということであり、最近の住環境計算には特にそれが重要です。それ以外にも、住環境計算にとって必要な以下のような特徴があります。

- (1) 日本全国842箇所のデータ
- (2) 1時間ごと、20年分の重要気象データ(気温、絶対湿度、全天日射量、大気放射量、風向、風速、降水量、日照時間)

(3) 斜面日射量、地中温度などを上記データから理論的計算できるアプリケーション付

本来意図された用途は、先に述べたように、建築物内部の環境シミュレーションです。加えて、気象データは以下の分野においても必要とされています。

- (1) 農業
- (2) 自然エネルギー利用
- (3) 材料劣化
- (4) 健康影響評価
- (5) 物流、イベント、旅行
- (6) 金融工学(天候デリバティブ)
- (7) 環境教育

今後は、これらの用途に適するようなデータ形式や付属アプリケーションを開発する予定です。

日本の気象データベースの画面表示例



発表後の成果・感想

会場においては、発表後、「ビジネスにつなげるにはもう一歩の感がある」「キャッチフレーズ・差別化・ネットワークが大事」などの励みや参考になる御意見をいただきました。3年後を目途として、それらに答えられるべく努力しています。

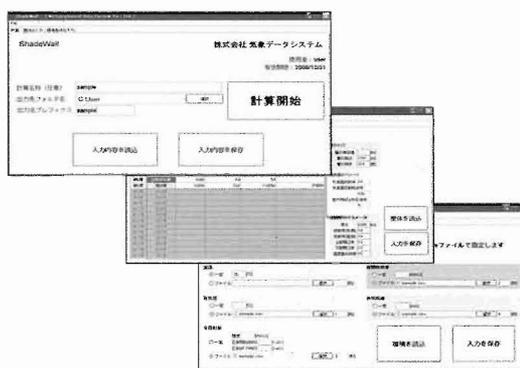
発表後、二水会には毎回参加させていただき、少しは顔も覚えていただくようになりました。ネットワーク作りに役立てさせていただいています。

今後の展望

本来の用途である住環境計算における使いやすさを磨くとともに、先に述べたような新用途開拓を推進します。

9月には、遮熱計算用ソフトウェア「ShadeWall」を発売する予定です。遮熱とは「熱を遮る」と書くように、断熱材で熱を伝わりにくくする従来の方法に加え、壁内空気層通気や放射率制御も加えて、更に熱を伝わりにくくする最近の技術です。「ShadeWall」は、このような技術を取り入れた壁体の挙動を理論的に計算できるソフトウェアであり、知る限りではオンリーワンタイプの商品です。関係の業界の方のお問い合わせをお待ちしています。

遮熱計算ソフト動作中の画面例



マーケティングの現場から ～チェック・ポイントと処方箋～

STUDIO K. 代表 中島 秋津子
【Email】 info@studiok.biz
【Blog】 http://www.studiok.biz/

発売直前のマーケティング。

◆秋は新商品シーズン

9・10月は秋冬のシーズン向け、年末年始向け、法人商品では来年度向けと新商品が数多く発表・発売される時期です。広告製作の最終段階や初出荷直前というタイミングを迎えている会社も多いことでしょう。

今回は、新商品・新サービス発売直前の「マーケティングの総仕上げ」を御紹介します。

この段階では商品企画を変更するなどの大幅な変更はできませんが、最終段階だからこそできること、すべきこともあるのです。



◆1：コミュニケーション・チェック

新聞広告、ホームページ、店頭用POPや法人向けの提案資料など、すべての広告・販促系製作物を想定顧客に見てもらいましょう。

ずっと関わってきた担当者はすでに何度も検討・確認してきたため、もはやフレッシュな目でものを見ることは難しくなっています。

このときのポイントは、

- ①チラッと一瞥する
- ②ざっと見る
- ③じっくり読む(吟味する)

という3段階の「読み方」をしてもらうこと。その読み方ごとに感じたことを直接教えてもらいます。

意図は通じているのか、誤解してしまう表現はないかなど、顧客だからこそ気づくことがあるものです。

◆2：PR活動とそのプランニング

商品や広告の全体像がわかるこの段階だからできることがあります。それが新聞、テレビ、雑誌など各種メディアへのPR活動です。

発売前に「新商品ニュース」として商品情報を発信するのはもちろん、発売後の売れ行き、顧客からの感想など、市場の反応についての情報もニュース・リリースとして発信するなどの計画を立ててみてください。

広報担当者だけでなく、商品開発・営業・生産など各部署に集まる情報を上手に編集することがコツです。

◆3：発売後の動きを決める

商品が発売されたら気になるのは初動ですが、そこから対応を考えていては、チャンスを逃すこともあります。そのため、売行パターンとその理由(仮説)、対応策を想定しておく必要があります。例えば、

⇒「販売計画を大幅に上回るとすれば、その理由は新機能の評価が想像以上に高い場合だろう。そうなればすぐに生産を増強しなければならないが、生産ラインは対応できるだろうか」

⇒「計画を下回るなら、販売店舗数の減少への対応策が不十分な時だろう。そうするとWEBでの直販強化しか間に合わない。強化策を考えておこう」といった具合です。

その時「顧客+マーケティングの4P(下記)」の5つの観点から検討してみてください。

【マーケティングの4P】

商品(Product): 基本価値、品質、デザイン等
流通(Place): エリア、流通経路、立地、自社・他社等
価格(Price): 定価、キャンペーン価格、支払方法等
プロモーション(Promotion): 広告、広報、販売促進等

特に発売後はスピードが命です。もてるチャンスを最大限に生かすためにも、事前のシナリオが大切です。

【今月のチェック・ポイント】

新商品、発売直前に
マーケティングの総仕上げをしていますか？



【マーケティングの処方箋】

- ①製作物を顧客の視点でチェックしてもらいます。
- ②商品に関わる情報を編集し広報に活用します。
- ③売行と要因を数パターン想定し、対応方法をおまかに決めておきます。

☆筆者紹介☆

中島 秋津子

(Atsuko NAKASHIMA)

分析レポート、事業プランニング、社員研修・講義など、マーケティングの観点から事業サポート・サービスを提供するSTUDIO K.(スタジオK)代表。



税務お役立ち情報

税理士・中小企業診断士

岩元 耕 児

TEL : 099-260-0100

FAX : 099-260-0113

E-mail : tia@tkcnf.or.jp

消費税がかかる取引と かからない取引

Q 当社は、設立3期目の中小企業です。今期より消費税の課税事業者となりましたが、経理する上で、消費税がかかる取引か否かがよくわからない点があります。消費税の課税対象となるものと、消費税が非課税となるものとの概要を教えてください。

A

I 消費税が課税される取引とは

消費税が課税される要件は以下の4項目の全てに該当する取引です。

- 1 国内において行うものであること
- 2 事業者が事業として行うものであること
- 3 対価を得て行うものであること
- 4 資産の譲渡等（資産の譲渡、資産の貸付け及び役務の提供）であること

II 消費税が課税される取引と課税されない取引

取引を勘定科目別に区分すると消費税課税と非課税の概要は以下の通りです。

科 目	課 否	課税取引(課税売上げ、課税仕入れ)にならないもの	
売上高	○(×)	土地売却・貸付代金(非)、住宅家賃(非)、社会保険診療収入(非) 商品券等の販売代金(非)、介護保険法に基づく居宅介護サービス等(非) 社会福祉事業等(非)、学校・幼稚園等の授業料等(非)、国外取引収入(不) (注)土地・住宅の貸付けで1月未満のもの及び建物・駐車場等の施設の利用を伴う土地の貸付けは課税されます。	
雑収入	○(×)	受取利息(非)、土地売却代金(非)、保険金(不)、お祝い・餞別などの収入(不)	
原 価 ・ 経 費	仕入高	○(×)	土地購入代金、商品券等の仕入代金、運送保険料
	役員報酬	×	報酬、賞与、退職金
	給料賃金	×(○)	給料・賞与・退職金(通勤手当は課税仕入れ)
	福利厚生費	×(○)	健康保険料などの法定福利費、慶弔費 (慰安旅行費等は課税仕入れ)
	外注費	○	
	租税公課	×	事業税、印紙税、固定資産税、自動車税などの各種税金の全て
	荷造運賃	○(×)	国際運賃
	水道光熱費	○	
	旅費交通費	○(×)	海外渡航費・滞在費
	通信費	○(×)	国際通信・国際郵便料金 切手代(自社使用)○
	広告宣伝費	○(×)	テレホンカード等の購入費→贈答×、自社使用○
	交際費	○(×)	慶弔費・餞別などの現金支出、商品券・ビール券・プリペイドカード等の購入費 (注)商品券など→贈答×、自社使用○
	保険料	×	すべて課税仕入れになりません。
	修繕費	○	
	消耗品費	○	
	費	減価償却費	×
地家賃		○(×)	地代、住宅家賃(寮や社宅)
リース料		○	
寄付金		×	
会費		×	同業者団体、商工会などの通常会費、特別会費は内容に応じて課税 (たとえば飲食代、図書代など)
貸倒損失	×	(注)別途、貸倒れに係る税額控除の対象となります。	
雑費	○(×)	損害賠償金	
支払利息割引料	×	すべて課税仕入れになりません。	

(非) : 非課税となるもの

(不) : 消費税の対象とならないもの(不課税取引)

○ : 課税売上げ(仕入れ)になるもの

× : 消費税の課税対象要件は満たすが、政策上の理由などから非課税とされるもの

○(×) : 大部分は課税売上げ(仕入れ)になるが、課税売上げ(仕入れ)にならないものもあるもの

×(○) : 大部分は課税売上げ(仕入れ)にならないが、課税売上げ(仕入れ)になるものもあるもの

このコーナーでは、食の安心・安全を確保するための鹿児島県の取組を紹介いたします。

今回は、生産段階における畜産物の衛生管理対策について紹介します。

生産段階における畜産物の衛生管理対策

畜産物とは肉類、牛乳、卵など、牛、豚、鶏などの家畜から生産されるもののことです。ここでいう生産段階とは、家畜が農場で飼養されている段階をいいます。安全な畜産物を生産するには、家畜が病気をせず健康に育つことが重要です。

1 家畜の伝染病および人畜（獣）共通感染症対策

人と動物の両方にうつる病原体により、どちらも病気になってしまう感染症のことを人畜（獣）共通感染症又は動物由来感染症と言います。そのような家畜の伝染病の発生を予防するために、家畜保健衛生所において、法律に基づく検査などを行っています。また、伝染病の届出を義務づけ、家畜の伝染病の発生状況を監視するとともに、人畜共通感染症のサーベイランス※1を実施しています。

特に、牛伝達性海綿状脳症（以下、BSE）は、1986年に英国で初めて確認され、2008年6月までに26か国で発生が報告されています。

国内では、2001年9月に初めて確認され、2008年7月までに35頭のBSEの患者が確認されています。BSEが確認されたことにより、牛肉の消費が落ち込み、畜産農家を含めた食肉業界に混乱が広がりました。

そのため、安全な牛肉を安定的に供給する体制をつくり、国民の健康を守るとともに肉用牛生産や酪農、牛肉に係るいろいろな事業者等の健全な発展を図ることを目的とした法律や牛トレーサビリティ制度が定められました。

鹿児島県においても、牛の所有者、獣医師等に対して、BSEを疑う症状がみられた牛又は死亡牛を確認した場合には、速やかに届出を行うよう周知し、農場段階におけるBSE検査の適切な実施について協力を求めるとともに、死亡牛の届出等に基づき、24か月齢以上の死亡牛全頭※2についてのBSE検査を実施しています。

2 動物用医薬品と抗菌性飼料添加物の適正使用

畜産物内の残留物質により、ヒトの健康を損なうおそれのあるものが生産されることのないよう、その使用、適正な管理について指導を行っています。

3 飼養衛生管理基準

畜産物の安全性を確保するためには、家畜の衛生管理を徹底し、伝染性疾患の病原体による汚染を減らすことが重要です。そのために、法律により家畜の飼養に係る衛生管理の方法について、家畜の所有者が守るべき基準が定められています。

この基準を飼養衛生管理基準といい、牛、豚、鶏などの所有者が行うべき衛生管理を具体的に定めたもので、平成16年9月に制定されました。飼養衛生管理基準に基づき、衛生管理を行わなければなりません。適切な衛生管理で家畜の伝染性疾患の発生を予防することにより、生産段階における畜産物の安全性が確保されます。このためには、家畜の所有者が自ら継続して衛生管理の改善を行うことが必要であることから、家畜保健衛生所では、飼養衛生管理基準の遵守状況確認や助言及び指導を行っています。

飼養衛生管理基準

- 1 畜舎及び器具の清掃又は消毒を定期的に行うとともに、畜舎及び作業衣、作業靴等を清潔に保つこと。
- 2 畜舎に出入りする場合には、手指、作業衣、作業靴等について、家畜の伝染性疾患の病原体がひろがるのを防止するために必要な消毒その他の措置をとること。
- 3 飼料及び水に家畜及びねずみ、野鳥等の野生動物の排せつ物等が混入しないよう努めること。
- 4 他の農場等から家畜を導入する場合には、当該家畜を導入することにより家畜の伝染性疾患の病原体がひろがるのを防止するため、当該家畜に異常がないことを確認するまでの間他の家畜と接触させないようにすること。
- 5 他の農場等に立ち入った者がみだりに畜舎に立ち入らないようにするとともに、他の農場等に立ち入った車両が農場に出入りする場合には、当該車両の消毒に努めること。
- 6 畜舎の屋根又は壁面に破損がある場合には、遅滞なく修繕を行うとともに、窓、出入口等の開口部にネットその他の設備を設けることにより、ねずみ、野鳥等の野生動物及びはえ、蚊等の害虫の侵入の防止に努め、必要に応じて駆除すること。
- 7 家畜を他の農場等に出荷する場合には、当該家畜が移動することにより家畜の伝染性疾患の病原体がひろがるのを防止するため、当該家畜の健康状態を確認すること。
- 8 家畜の異常をできるだけ早期に発見することができるよう、家畜の健康管理に努め、異常が認められた場合その他必要な場合には、獣医師の診療を受け、又は指導を求めること。
- 9 家畜の健康に影響を及ぼすような過密な状態で家畜を飼養しないこと。
- 10 家畜の伝染性疾患の発生を予防に関する知識の習得に努めること。

近年、たび重なる食品偽装問題により、食に対する安心・安全の意識が高まっています。

鹿児島県は、全国有数の畜産県ですので、今後も、これらの対策を継続し、消費者の期待を裏切らないよう、生産段階における畜産物の衛生管理を通じて食の安全・安心の更なる向上に取り組んでいきます。

※1 伝染病発生の予防や予察に必要があるときに、特定の期間や地域における抗体保有状況などの情報を、継続的に収集・分析及び評価する手段

※2 と畜場に出荷された牛については食肉衛生検査所において、BSE全頭検査が行われています。

女性起業家の声

鹿児島県の女性起業家の方々に、起業家としての思いや抱負などを女性の視点でお話いただくコーナーです。

出会い

いつものように新聞を読んでいたら、とても心惹かれる記事を見つけた！

その記事はさつま女性起業家塾の紹介の記事。

この記事を読んだのは5年ほど前。お店をオープンさせて3年目。結婚・出産・子育てと自分の人生が目まぐるしく変化した時期。このころちょうど3年目のジンクスが・・・。

売り上げの伸び悩み。

今後の経営に不安を感じる時期でもありました。ここで何か変わりたい、変わらなければいけないと思っていた矢先の記事発見でした。ここで何か変わるかもしれないと思い、早速この起業家塾の門をたたきました。

初めて参加した日は今後の活動計画の話合いと自己紹介。私は隅の方で緊張しながら様子をうかがっていました。

いよいよ自己紹介。私は最後の方で、あまりの緊張で何を話したか全く覚えていません。元気よく名前だけ言った様な。これがこの起業家塾との出会いです。

この塾に参加して色々な方との出会いがありました。普段お会いすることなど出来ない経営者・企業への訪問、毎回勉強になることばかり。そしてこの会に参加している皆さんとの交流、私にとってはかなり刺激になりました。今までの自分が嘘のように精神的・体力的に元気になりました。メンバーの皆さんからパワーをいただけてほんとに感謝しています。

『頑張ったね・・・』の言葉

「女性が起業する・何か始める」それは容易なことではありません。私は開業して2年目に結婚・出産しました。主婦業・子育て・お店の経営の三足のわらじを履いて頑張ってきた私。私にとっては3つとも大切なもの、どれも手を抜かず頑張ってきました。

けれど、途中しんどい時に、何度も何度も結婚・出産を後悔したことも正直ありました。

会のメンバーの方に、今の自分のことを相談する機会がありました。メンバーの方は、よく私の話を聞いてくださって、それだけでもすごく嬉しかったのですが、その後私に「頑張ったね」って言ってくださったことがとてもうれしかったです。

仕事と家族



<太田さんの経営する 雑貨屋“エクレレ”>

心のどこかで、自分をほめてもらいたいと言う願望があったのかもしれませんが。

『頑張ったね・・・』何気ないこの言葉、私にとって、とても深い言葉でしたね。

家族の大切さ

この他にも、この時期にある人が私に言ってくれた言葉があります。

それは「今のあなたがあるのは、家族が居てくれたからだよ。家族が応援してくれるから君は頑張れるのだよ。家族に感謝し、笑顔で頑張るなさい。その中で太陽のように輝きなさい。」という言葉でした。その言葉をいただいたときに、涙があふれてきました。今までの自分が恥ずかしくなり、家族の大切さを改めて考えさせられました。

その後は家族を一番に考え、その次にお店のことを考えるようになり、精神的に楽になりました。2人の子供達は、私の後ろ姿をみて成長しています。来年はもう1人家族も増えます。子供達にとってかっこいいママでいてあげたいですね。

これから

私も経営者です。今後の野望もあります。その野望（目標）のためにも、日々の仕事を頑張って行こうと思っています。更なる飛躍を目指して。

今後も、さつま女性起業家塾が、15年・20年と続くように、メンバーの方々と頑張っていきたいです。女性パワー炸裂で頑張りたいと思っています。

☆筆者紹介☆

太田 由貴子 (Yukiko OTA)

雑貨屋 エクレレ代表
(霧島市国分中央5-17-30)

さつま女性起業家塾会員
宮崎県都城市生まれ

IT活用戦略

株式会社フォーエバー

代表取締役 久永 忠 範

〒892-0821 鹿児島市名山町9-15

ソフトプラザかごしま504

TEL : 099-239-5269

URL : <http://www.forever.co.jp>

E-mail : forever@forever.co.jp

社内ネットワーク

こんにちは、フォーエバーの久永です。

今回は、社内ネットワークについて御紹介いたします。前回まで、グループウェアや業務統合ソフトなどのお話をさせていただきましたが、ネットワークは、そのシステムを運用するとても重要な役割を担っています。中小企業においても、パソコンはただ単体で利用するだけでなく、情報共有を効率的におこなうための活用方法として、パソコン同士やプリンタをつなぐ社内ネットワークの構築が必要です。

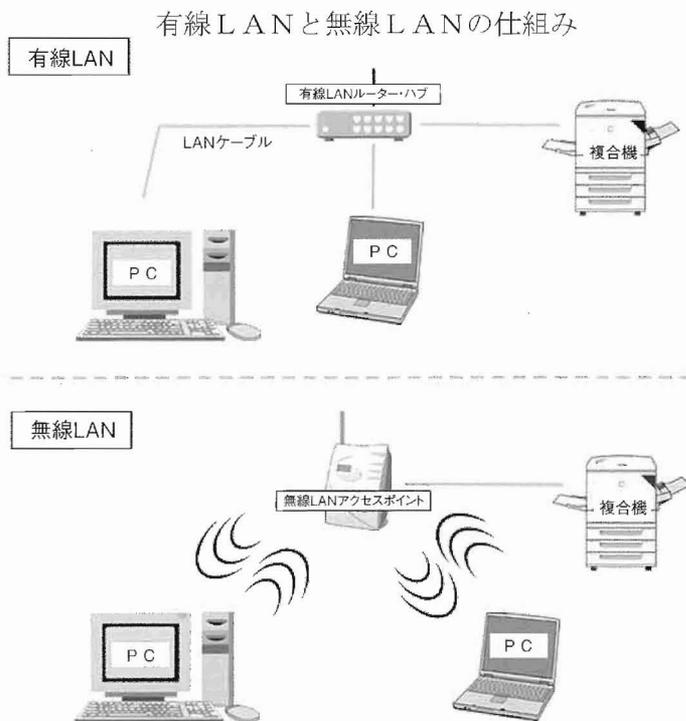
大きなメリットとして、データのやり取りが簡単にできたり、プリンタやコピー機などを共有して利用することができます。

中小企業における社内ネットワークの構築に、最低限必要なことは以下のことです。

- ・なるべく安価で構築できること
- ・構築が簡単で、短期間で利用できること
- ・最低限のユーザ(利用者)の要求を満たすこと
- ・安定した運用と保守管理が簡単にできること

社内ネットワーク構築において、パソコン同士をつなぐネットワークには、大きく分けて2つの方法があります。それは、ケーブルでつなぐ有線LANと、無線でつなぐ無線LANです。

LAN(ラン)とは、Local Area Networkの略で、オフィスなどの比較的狭い範囲に設置されたネットワークのことです。



無線LANについてのメリットは、電波の届く範囲であれば、パソコンを自由に移動できるモバイル性と場所を選ばないレイアウト性があります。またLANケーブルを使わないのでケーブルの断線、抜け等の配線トラブルがありません。

デメリットは、無線通信のため電波の届きにくいところでは通信速度が安定しないことと電波が盗聴される危険があるため、WEP(暗号化技術)などによる暗号化通信でセキュリティー対策を行わなければなりません。

このような、有線、無線の優劣と費用対効果を考えながら社内LANの構築を行います。

一般的に機密情報を扱う部署、企業においては、データの漏えいなどのセキュリティーから考えると有線LANが望ましいでしょう。

次に、社内ネットワークが整備されたら、運用と保守・管理を考えなければなりません。

最初に述べたように、ただパソコン同士をネットワークでつなぐだけでは、効率的な利用はできません。

情報の共有という点において、ファイルサーバにおいて、社内でも共通するファイル(送付状、挨拶文などの雛型や顧客名簿など)を、どのパソコンからもアクセスできるようにしておけば、ファイルの情報が更新されても、いつでも新しい共通の情報を共有することができます。ネットワークリソースの共有には、フォルダやプリンタなどの共有は欠かせないものだと思います。

またファイルサーバは、各パソコンのデータのバックアップにも利用できます。社内でも利用しているパソコンに

いつ障害がおこるかわかりません。

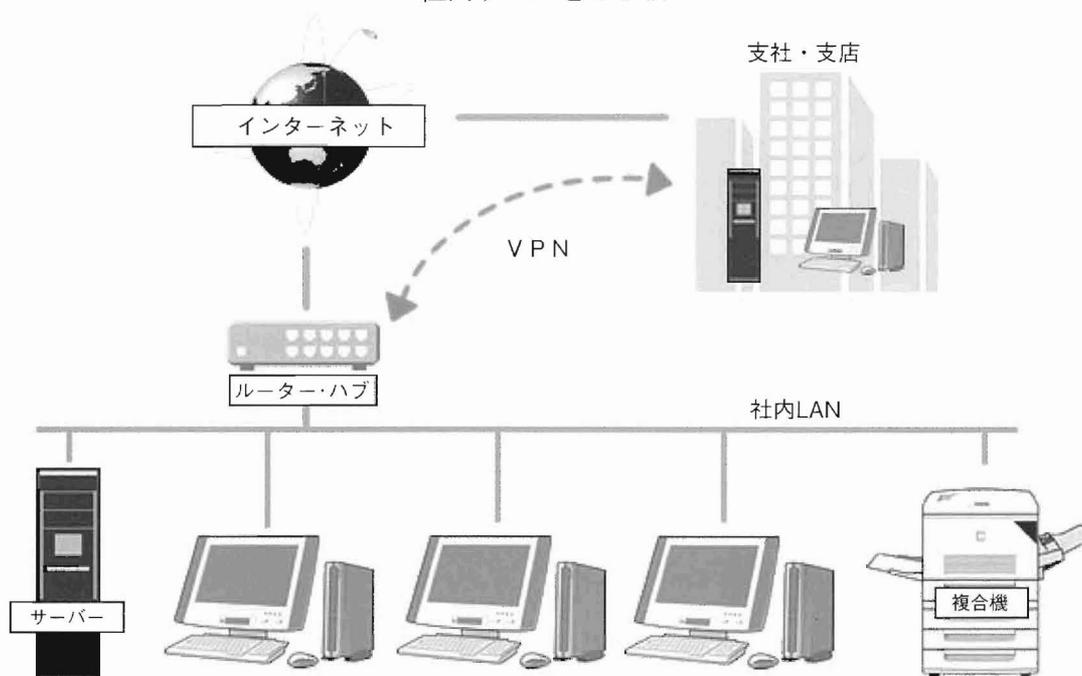
特にノートパソコンは持ち運びするので、ハードディスクの故障でデータ復旧が難しいこともあります。日頃からノートパソコンに限らず、データのバックアップだけはしっかりとっておかなければなりません。USBメモリやCD、DVDなどへのバックアップもありますが、保存容量にも限りがありますので、ファイルサーバであれば、あまり容量を気にする必要はありません。しかし、ファイルサーバも二重にバックアップ機能の設定をしておくのが無難かもしれません。

ファイルを共有すると言うことは、セキュリティー面から考えると、コンピュータウイルスなどの感染の可能性もでてきます。ネットワークで構成されたパソコンには、必ずウイルス対策ソフトをインストールしておくことも必要です。

社内LANが構築されると、次に社外との接続が必要になってきます。中小企業においては、情報収集や社外との連絡にはインターネットは欠かせないものとなってきています。しかしセキュリティーにおいては、社内と社外をネットワークでつなぐことは、高いリスクを負うことになります。一般的には、ルータという機器を用いて、社内LANと外部との接続を行います。外部との通信を制御し、社内のコンピュータネットワークの安全を維持するファイアウォールという機能が必要ですが、ルータにもこのような簡易な機能がついています。

企業によっては、電子メールやインターネットを通じて、離れた場所にある支店や営業所と、機微な情報のやり取りを行うこともあると思います。常時接続やもっと密な接続が必要な場合は、VPN (Virtual Private Network) を利用することをお勧めします。VPNは、公衆回線をあたかも専用回線であるかのように利用できるサービスで、企業内ネットワークの拠点間接続に用いられ、専用回線を導入するよりコストを低く抑えられるという利点があります。

社内サーバとVPN



4月から6回にわたり、中小企業の情報化についてお話させていただきましたが、一番大事なことは、自社企業における情報化の必要性をしっかりと見極めることだと思います。企業経営において、コストをかけずに効率的に運営していくことはとても大事なことだと思いますが、中長期的な情報化計画や費用対効果を考えたソフトウェア、ハードウェアの導入も考えなければなりません。また、働く人々の情報リテラシーの向上と経営者のITの活用能力も必要です。ぜひ、ITに使われるのではなく、ITを利用して発展、向上していく企業を目指してください。

☆筆者紹介☆

久永 忠範 (Tadanori HISANAGA)

株式会社フォーエバー 代表取締役

・ITコーディネータ・キャリアコンサルタント・個人情報保護士

90年 個別指導学習塾 永久(とわ)塾開業

96年 有限会社フォーエバーラーニングシステム設立 システム開発を開始

97年 情報サービス部門を設けてパソコン教室を開始

00年 WEBコンテンツ事業を開始

06年 株式会社フォーエバーへ組織変更 ITコンサルティングを開始



鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者のシーズを企業の皆さまに活用していただくために、研究者に代わって権利化したり、大学の機関帰属となったシーズを権利移転する活動を行ったりしております。今回は鹿児島大学が出願し、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介いたします。

【発明の名称】 養殖稚魚の健全な発育を促進：餌用マイクロカプセル飼料

【発明者】 鹿児島大学工学部教員等

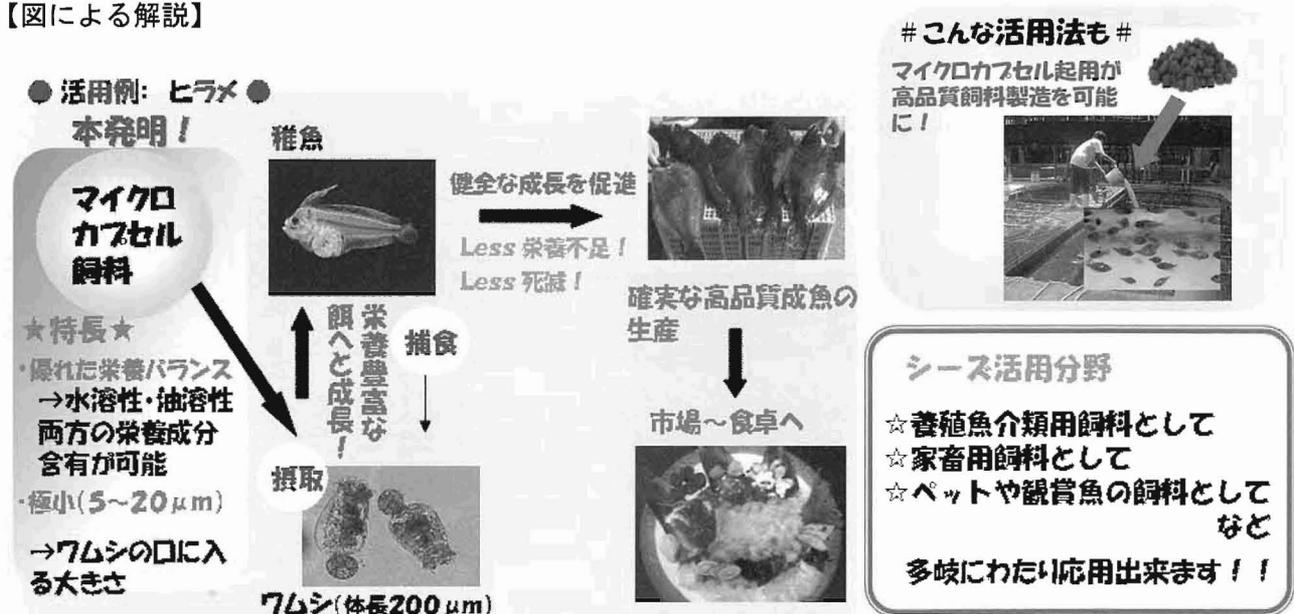
【公開番号】 特開平10-327770

【公開日】 平成10年12月15日

【発明の概要】 鯛・ヒラメなどの高級養殖魚稚魚（海水魚）の餌として、現在ワムシと呼ばれる体長200 μ m程度の生物が用いられる。栄養価の高いワムシを捕食させることにより、高額な稚魚の死滅原因となる栄養不足の防止を図る必要がある。しかしながらそれに不可欠な栄養成分であるアミノ酸（特に必須アミノ酸）は水溶性であること、さらに不飽和脂肪酸（特にDHA、EPA）は極小の生物であるワムシの体内に効率的に取り込むことが困難であるという問題があった。

本発明は、従来のものとは異なる新しいタイプのマイクロカプセルを案出することにより、養殖稚魚が捕食する餌用生物の飼料などとして好適な、各種の栄養成分がバランスよく含有された飼料を提供する。

【図による解説】



御興味のある方は下記までお問合せください。

株式会社鹿児島TLO 【<http://www.ktlo.co.jp/>】

〒890-0065鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学内

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632 E-Mail info@ktlo.co.jp

担当 吹留(技術移転マネージャー)、平川(特許流通アドバイザー)

町田(技術移転スペシャリスト)、赤崎(技術移転スペシャリスト)、米満(NEDOフェロー)

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今回は、下記の企業から発注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧頂けます。（URL : <http://www.kric.or.jp>）

◆発注情報

*今回は、6月に実施した九州合同発注開拓調査（1回目）で発注申し込みのあった案件を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、その際はご了承をお願いいたします。

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件		有効年月日
					必要設備	材料	
1	宮崎県	切削加工品 (将来的)	協議	機械加工	マシニングセンター NC旋盤、複合旋盤	アルミ角材	H20.10.31
2	熊本県	半導体用真空チャンバー (将来的)	協議	機械加工 溶接加工	大型マシニングセンター 五面加工機 溶接設備 他	SUS、アルミ	H20.10.31
3		半導体評価用検査装置 (将来的)	協議	機械加工 精密板金 焼付塗装 表面処理	タレパン、マシニングセンター ワイヤー放電加工機、NC旋盤 フライス盤、レーザー加工機 各種溶接機、塗装設備一式 シルク印刷設備、めっき設備	鉄、SUS、アルミ	H20.10.31
4		電子機器OEM開発、製造 (将来的)	協議	機械設計～製造	同左加工設備一式	鉄、SUS、アルミ	H20.10.31
5		プリント基板設計 (将来的)	協議	プリント基板設計	同左加工設備一式	協議	H20.10.31
6		製缶加工品 機械加工品 (将来的)	協議	製缶加工 機械加工	溶接設備、大型プレス機械 大型切削加工機 他	SUS、一般鋼	H20.10.31
7		福岡県	鍛造機械装置 (現在)	協議	機械加工 製缶加工 (一般・厚肉)	大型機械加工機 各種溶接設備 プレス(400t以上) 他	SS400
8	福岡県	フランジ・軸 (現在)	協議	機械加工	フランジ:直径700mm以上 軸:2,000mm以上を加工できる 機械設備一式	SS400、S35C	H20.10.31
9		精密板金加工品 機械加工品 ('08年12月)	協議	板金加工 機械加工	板金加工設備一式 マシニングセンター 他	SPCC、SUS S45C 他	H20.10.31
10	大阪府	ブラウス、スカート ワンピース、ジャケット (現在)	30～300 /ロット	裁断～縫製	本縫いミシン	布帛	H20.10.31
11	東京都	装置部品 (将来的)	協議	機械加工	旋盤、NC旋盤、平面研磨機 マシニングセンター ワイヤーカット放電加工機 他	SS、S45C、SK SKS、SKD、SUS アルミ、超硬 他	H20.10.31

◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279
E-Mail: business@po.kric.or.jp

Information

1 かごしま食と健康バイオフィォーラム2008の御案内

鹿児島県のバイオ資源を活用した次代の産業を担う新たなバイオ産業群の創出を目的に、先端バイオ技術の紹介と、県内の大学や企業研究者が取り組んでいる最新バイオ研究内容を紹介します。

■開催日時■ 平成20年10月10日(金) 13:00～16:30

■開催場所■ 歴史資料センター黎明館 講堂

■内 容■ ◎講演

①わさびの健康食品開発

金印(株) 研究員 永井 雅 氏

②アントシアニン食材の機能性の解明と健康食品への応用

鹿児島大学農学部 准教授 侯 徳興 氏

③甘さを控えた新たなさつまいも食材の開発

(株)ジーピーフーズ 製造部長 慶児 明彦 氏

④新しい香味の緑茶を海外へ

～産学官による「べにふうき」緑茶の商品開発について～

(株)下堂園 業務推進本部マネージャー 松崎 俊一 氏

◎パネル展示(講堂ロビー)

かごしま産業支援センターの支援を受けた企業の研究成果などのパネル発表を行います。

■懇 親 会■ 17:00～ 敬天閣 会費3000円

発表した企業等の研究者を交えて懇親会を開催します。

■申込み・問合せ先■

財団法人 かごしま産業支援センター 産学官連携課

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学官連携推進機構1F

TEL:099-214-4770 FAX:099-214-4771

2 「かごしま産業技術賞」募集の御案内

かごしま産業支援センターでは、県内の企業等が、原則として最近3か年間に開発した新製品・新技術を公募し、特に優れたものを表彰します。

*詳しい応募要領は、下記ホームページを御覧ください。

■表彰内容■ ◎大 賞(1点)・・・賞状、賞金 100万円

◎奨励賞(1点)・・・賞状、賞金 50万円

■応募資格■ ◎対象者

県内に本社若しくは工場等を有する中小企業等(個人を含む)

◎対象となる研究開発

「第7回かごしま産業技術賞」(平成17年4月実施)以降、原則として、最近3年間に県内で開発された新製品又は新技術で、実用に供され本県産業の振興に寄与しているもの。

■募集期限■ 平成20年11月20日(木)まで

■発 表■ 平成21年2月開催予定のベンチャープラザ鹿児島(二水会)にて表彰し、内容を発表していただきます。

■申込み・問合せ先■

財団法人 かごしま産業支援センター 産学官連携課

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学官連携推進機構1F

TEL:099-214-4770 FAX:099-214-4771

ホームページ <http://www.kric.or.jp/>

Information

3 中小企業テクノフェア IN 九州 2008 出展企業決定

「中小企業テクノフェア IN 九州 2008」は、中小企業の優秀な技術・製品、加工品等を一堂に展示実演し、製品開発力、加工技術力を紹介するものです。発注企業、商社並びに中小企業との相互の交流を図り、広域的な受注機会の拡大と新規取引先の開拓を進め、中小企業の経営革新、自立化、新連携の構築を実現することを目的に開催しております。今回は、鹿児島県から下記の4社が出展することになりましたのでご紹介いたします。

◆開催概要

- 会 期 平成20年10月22日(水)～24日(金) 10:00 ～ 17:00
- 会 場 西日本総合展示場 新館 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1
- 小 間 数 39小間
- 主 催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
- ホームページ <http://www.kyushu-tf.com/index.html>

◆鹿児島県出展企業 (4社)

No.	企業名	所在地	出 展 物	小間数
1	(株)小田豊商会	鹿児島市	洗える畳「洗畳(せんじょう)」	1
2	薩摩コンクリート(株)	南九州市	超高強度繊維補強コンクリート製階段「ステップボード」	1
3	豊瑛電研(株)	薩摩川内市	風力・太陽光ハイブリッド発電システム	1
4	フォービステクノ(株)	薩摩郡	精密板金加工品、粉体塗装品	1

◆お問い合わせ先

(財)西日本産業貿易コンベンション協会 TEL:093-511-6800 担当:衛藤・今村

4 モノづくりフェア 2008 出展企業決定

「モノづくりフェア2008」は、九州における「モノづくり」の技術の共有化や活性化、また異業種・異分野の融合や試みを踏まえ、さらなる発展を産業界に創出することを目的に開催しております。今回は、鹿児島県から下記の4社が出展することになりましたのでご紹介いたします。

◆開催概要

- 会 期 2008年10月23日(木)～25日(土) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
- 会 場 マリンメッセ福岡 〒812-0021 福岡市博多区沖浜町7-1
- 小 間 数 350小間
- 主 催 日刊工業新聞社
- ホームページ <http://www.nikkanseibu-eve.com/mono/index.php>

◆鹿児島県出展企業 (4社)

No.	企業名	所在地	出 展 物	小間数
1	鹿児島ケース(株)	日置市	精密板金加工品	1
2	(株)サツマ超硬精密	鹿屋市	超硬パンチ、ダイ、治工具	1
3	東洋ツール工業(株)	南さつま市	超硬工具	1
4	(株)秦野精密	薩摩郡	ファインブランク加工部品	1

◆お問い合わせ先

日刊工業新聞社 西部支社 業務部 TEL:092-271-5715 担当:村釘

鹿児島県人材育成センターの利用の御案内

当センター出先機関の鹿児島県人材育成センターでは、企業の在職技術者など人材育成の支援を主たる目的として、各種の講座・研修を実施しているほか、企業自らが企画する会議・研修・講演などの会場として、低廉な使用料で利用していただいております。皆様の参加及び御利用をお待ちしております。

自主講座：食品加工・機械加工・QC手法・ISO関係など29講座を実施
 施設利用：150人収容の大研修室のほか大小6室を低廉な使用料で提供
 （詳しくは、下記までお問合せください）
 所在地：霧島市国分中央3-44-36



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 鹿児島県人材育成センター
 〒899-4332 霧島市国分中央3-44-36
 TEL：0995-47-3090 FAX：0995-46-4413 E-mail：jinzaic7@po.kric.or.jp

「かがしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かがしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業が掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課
 〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階
 TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@po.kric.or.jp

メール配信サービス「KISCNEWS」の御案内

当センターでは、イベントや研修など各種のお役立ち情報をEメールで無料配信するサービスを行っております。配信を希望される方(機関または個人)は、次の当センターホームページからお申し込みください。
 (お申込み先URL：http://www.kric.or.jp/publication/kiscnews/top.htm)

■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課
 〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階
 TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：kiscnews@po.kric.or.jp



■「情報KISC」の表紙デザインについて■

表紙のデザインは、「かがしまデザインフェア2008」の「KISCデザイン部門」に応募された総数147点の中から入選されました
 下大蘭 秋代 さんの作品です。

～作品のテーマは「見えてきたモノ」～

(下大蘭さんのはなし)

丸いトレイの中に見えてきたモノは、人の顔。
 人工的に造りだされた形と使う人。
 柔らかい布、枯れ枝、毛糸、プラスチックトレイの中に
 いろいろあっておもしろい。
 デザインもいろいろあっておもしろい。
 そのカタチを作品にしてみたいと思いました。

情報KISC 9月号

発行者：財団法人かがしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)
 FAX 099-219-1279
 E-mail kisc@po.kric.or.jp
 URL http://www.kric.or.jp